

# 渡辺だいすけ 奔走記

第7号

2021年1月  
— 発行者 —  
福井県議会議員  
渡辺大輔

福井市新田塚1-70-31  
TEL.0776-50-2083

## 県政報告

新年あけましておめでとうございます。

昨年の今頃は、まさか世界中が新型コロナウイルス感染症によるパンデミックに見舞われようとは、誰もが予想していませんでした。

そして、新型コロナウイルス感染症は私たちに様々な人間社会の限界をも見せつけてきました。ただ、私たち人間も英知を結集して、何とかこの状況を打開しようと模索が続いています。今年こそ、コロナに打ち勝ち、一歩進んだ社会にしましょう!



※昨年1月に実施した「渡辺大輔 新春県政報告会」は、新型コロナウイルスの感染を考慮して、今年中止させていただきます。  
県政報告の開催につきましては別途ご案内いたしますので、どうぞご参加ください。  
県議会12月定例会 渡辺大輔 一般質問の動画をぜひご覧ください。→



## 議会答弁

## 活動報告

### 【代表質問】北陸新幹線の開業遅れについて

令和5年春の北陸新幹線金沢—敦賀間開業に合わせて、並行在来線や駅周辺開発、観光、イベントなど、福井県は様々な準備を進めてきました。それが昨年11月、鉄道・運輸機構からの突然の「**工期遅れと事業費増加**」の報告。県への経済効果が309億円と見込まれた北陸新幹線。それらもご破算となる中で、何としても県益を損ねてはなりません。



## 質問1

北陸新幹線金沢・敦賀間の工期の遅れの責任はどこにあるのか、また工期の遅れなどによる事業費増の負担は、全て国や機構が負うべき。

## A

【知事】鉄道・運輸機構は、今回の工事の遅れをずっと隠し続けてきたことが、結果として工期の短縮、事業費の増高を抑えることを検討する機会を失うことになったと考えている。また、工期の遅れや事業費の増高も、機構が実勢単価に見合わない積算で入札を行った結果、再度入札が必要となった。その際、相手方の言いなりの見積価格の契約を行うことで事業費増高となり、機構の組織・体制が大きな原因があるというふうに考えている。国土交通省の管理監督体制も強化が必要だと考えている。事業費の増高分については、事業が遅れた上に、1年半の間に2度も上がることになり、全額国でと基本的には考えているが、少なくとも地方負担が極力小さくなるような財政措置を行っていただく必要がある。



遅れの一因となっている北陸新幹線 敦賀駅

## 質問2

仮に金沢・敦賀間開業が1年半遅れた場合、並行在来線の経営にどのような影響が生じるのか、また、そのために発生する新たな負担については、全額国や機構が負担すべきと考えるが？

## A

**【地域戦略部長】** 並行在来線の開業が遅れた場合、①人件費や運営費などの開業準備経費の増加。②開業時の要員および開業までの社員採用計画を再検討する。③JRからの鉄道資産の買い取り額だと開業前の設備投資額が変更する。などの影響が考えられる。ちなみに開業が1年遅れるとすると、影響額は約6億2千万円と試算している。開業の遅れで生じる増加経費については、今回の経緯を考えれば当然、国費で措置すべきものとする。11月26日に開かれた自民党のPTの会合においても、並行在来線会社の社長からも要請を行ったところで、県としても政府・与党に対し強くその実現を求めている。

## 【一般質問】 1 児童虐待対策について

過去最多の19万3780件となった児童虐待。その後の児童の成長にも大きな影響を残します。虐待通告が増えれば児童相談所職員の業務負担増となり、結果として虐待への対応が遅れることも。その一助として今注目されているのが、**AIによる児童虐待判定**。児相職員の業務が4割減との報告もあります。



## 質問

増え続ける児童虐待に対し、児童相談所職員の業務負担を軽減し、迅速かつ的確な対応が可能となるAIシステムを導入しては？

## A

**【健康福祉部長】** AIを活用した緊急性の判断のシステムについては、現在、国で全国統一のツールの開発に向けた検討が始まる。今年度の概算要求にも盛り込まれたと聞いている。本県としてはこの検討結果を受けて、検討していきたい。



児童虐待の判定業務軽減につながる  
AIシステム▶

## 2 児童科学館について



福井県児童科学館は、県民はあまり気づいてはいませんが、**全国に誇れる宇宙や科学を体感できる科学館**です。本格的な理科実験ができるコミュニケーション・ラボも魅力的な取り組みです。県内小学校の利用促進と、教育旅行誘致の目玉としては？

## 質問

コミュ・ラボの利活用を促進していただきたい。合わせて児童科学館の魅力を県内外に発信し、コミュ・ラボ体験型の校外学習や教育旅行の目的地としてアピールしては？

## A

**【健康福祉部長】** コミュ・ラボを一度利用した学校は引き続き利用されている。利用学校数も、4年間で、20、40、60、80校という感じで増えており、令和元年度85校という状況。学校行事の都合上、利用希望



児童科学館の  
コミュニケーション・ラボ  
(11月6日)

次ページへ

前ページより

の期間がかなり集中してくるという課題はあるが、学校間と調整をしながら、最大限希望どおり受入れを行っていくことで増やしていきたい。

A

【知事】 私も子どもが小さいときに連れて行って、広いところに遊具があり、飛んだり跳ねたり楽しめる。また、勉強の中身に興味関心を持って理解を深めていけるなど、素晴らしい施設。毎年50万人以上の来客があり、名誉会長の毛利氏をはじめ、皆さんから評価いただいている。令和元年度、児童科学館へはコミュニケーション・ラボをはじめとして、団体利用が526件あり、うち県外の団体が140件で26.6%。そのうち8割は、保育所とか子ども会で、まだまだ学校としての利用は少ない。素晴らしい施設なので、まず県内の利用を促進していきながら、さらに教育旅行など、県外の学校などに向けてのPRをしていきたい。

### 3 若年層の介護人材確保について

現在、福井県内の介護事業所で働く介護士は11360人。**2025年には12600人の人材が必要**となります。中でも日本の若年層の介護人材が不足しています。**処遇改善やロボット導入**など、介護職への環境改善を進めなければいけません。



質問

介護福祉士の処遇改善と同時に、積極的な若年層の介護人材確保策を求めらる。

A

【健康福祉部長】 若年層の人材確保については、これまで高校生を対象として、施設での職場体験や介護の魅力を伝えるハンドブックを配布してきた。今年度から高校教員向けに介護の仕事に関する研修を行い、進路指導の面からも介護の仕事への就労の働きかけや、出前授業で介護の魅力を上げるといことにもつなげていきたい。介護士のやりがいや魅力を伝える動画の作成については、介護事業者代表とか介護福祉士会等からなる県人材確保対策協議会においても議論が出ており、前向きに検討していきたいと考えている。

### 4 公共交通のキャッシュレス化について



北陸新幹線の開業が1年遅れと予想されていますが、いずれにせよキャッシュレス決済に慣れた首都圏層を呼び込む準備は必要です。その1つが**公共交通のキャッシュレス決済**。JRではICOCAによる自動改札が導入されていますが、その他はまだ。是非この機会に!

質問

京福バスやえち鉄、福鉄、タクシーなどで、クレジット決済などのキャッシュレス決済ができるよう、県が主体となり、財政支援も含めて取り組んでみては?

A

【知事】 地域鉄道やバスに対してキャッシュレス決済は県民の利用者や観光客にも非常に利便性が高いということで、現在事業者や市や町と一緒に検討を行っている。京福バスでは、インバウンド向けも含めて、VISAタッチという県内では新しい方式も考えられている。また、事前買った周遊バスをスマホに入れられるようなシステムの普及も始まっている。できれば県内同一のシステムが、県民の皆さんにとって一番利便性が高いと思っているが、システムにはいろんなバリエーションがある。そういった中で、できるだけ一本化できないかといったことも含めて、これからも事業者や市や町と一緒に検討を行っていききたい。



## 厚生常任委員会



原子力発電は「**トイレなきマンション**」とよく例えられるように、使用済みの核燃料を捨てる、あるいは一時保管する場所が未だ整備されていません。福井県でも現在、関西電力3基の40年超の原発が、再稼働に向けての準備を進めていますが、知事は使用済み核燃料一時保管する「**中間貯蔵**」の**県外立地場所が提示されない限り、再稼働の議論はしない**としています。

私は、原発の安全・安心を最優先とする立場からも、中間貯蔵の県外立地地点が一日も早く示されるべきと考えます。この難しい課題に対し、国は関西電力をサポートするとは言っていますが、解決に向けての強い姿勢が見られません。原子力発電は国策であり、この難局は一事業者だけに任せられるものではありません。国が前面に立って解決することを県が要望するべきと常任委員会で質問しました。

## フリー・トーク

「議員って、年4回の議会の他には何してるの?」よく聞かれる質問です。実際私も、議員になる前は漠然とそんなことを考えていました。県民からは、議員や議会の動きが見えません。何をしているのかも分からない。だから、県民(国民)は次第に政治に興味・関心がなくなっていくのでしょうか。

私が初当選してからこれまで1年8か月、一言でいうと「大変!」でした。福井県には総務部以下8つの部の他、教育庁や警察、会計局、議会局など多くの部局が存在します。今年度、全部局が抱える施策は主なものだけでも合計約310事業、予算額で5000億円を優に超えます。全て税金です。今年はコロナ対策も加わり、補正予算が追加され、総額6000億円に迫る勢いです。私たち議員は県民の代表として、これらの事業や予算がしっかりと行われているのか、無駄はないかをチェックし、場合によっては軌道修正や新たな施策の提言も行います。そのためには、しっかりと勉強や調査をしなければなりません。特に教員しかやってこなかった私は、最初は全く未知の世界で右往左往していますので、余計にです。つまり、年4回の議会でしっかりとチェックや提言をするため、合間の期間はひたすら調査と勉強をしています。加えて、様々な会合に出席したり、招待された会に参加したり・・・(昨年はコロナでグッと減りました)。

一方で「やりがい」も感じます。県民の皆さんの暮らしを守るために、県の事業で改善すべき点多々あること、それを多くの県民の皆さんが教えてくれます。事業の改善や執行につながった時には、「皆さんのお役に立てた!」と思えることも。今年も常に広く県民の皆さんに接し、その声に耳を傾け、県の事業に対し提言、チェックをする、そんな1年にしていきます!



※イラスト自作(へたくそっ!)

### こんなことにも取り組んできました!



加賀トンネル視察  
(R2.11.5)



朝倉氏遺跡 復原街並視察  
(R2.11.10)



美浜原発3号機視察  
(R2.11.10)



敦賀Mゼウム視察  
(R2.11.10)

お困り、お悩みなど  
ありましたら  
是非ご相談を!

## 渡辺大輔事務所

〒910-0067 福井市新田塚 1-70-31

TEL.0776-50-2083 FAX.0776-50-2086

E-mail d-wat571@outlook.jp

<http://watanabe-daisuke.info/>



Facebook用



公式サイト